

# HAKKO FX-801

SOLDERING STATION

はんだこてステーション

## 取扱説明書

●

このたびはハッコーFX-801をお買い上げいただき  
まことにありがとうございます。  
お使いになる前に必ず本書をお読みください。  
お読みになった後も、後日お役に立ちますので大切に  
保管しておいてください。

●

### 目次

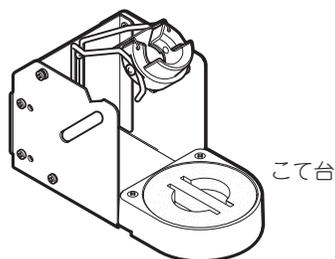
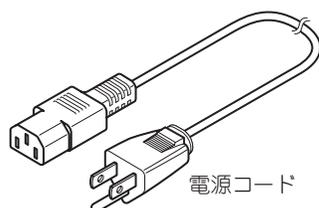
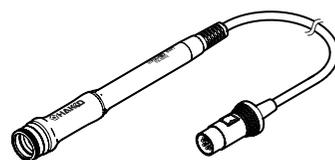
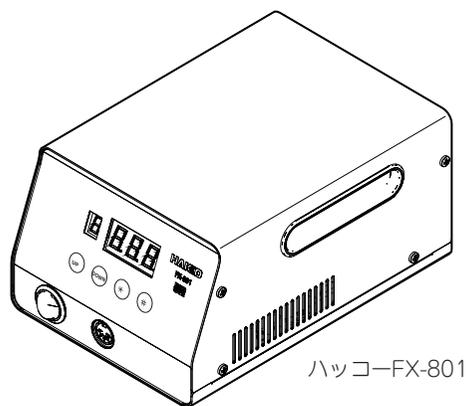
1. セット内容 .....	1
2. 仕様 .....	1
3. 安全及び取扱い上のご注意 .....	2
4. 各部名称 .....	3
5. 組み立て .....	4
6. 使用方法 .....	5
7. パラメータ設定 .....	10
8. メンテナンス .....	16
9. 点検 .....	17
10. エラー表示 .....	18
11. トラブルシューティング .....	19
12. 部品リスト .....	21
13. 配線図 .....	23

# 1. セット内容

最初にセット内容をご確認ください。

ハッコーFX-801 ステーション	1
ハッコーFX-8002 こて部	1
こて台	1
中継コード	1

電源コード	1
耐熱パッド	1
取扱説明書	1



※こて先 (T33シリーズ) は別売です。

# 2. 仕様

## ●ハッコーFX-801

電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	300W
設定温度範囲	50~500°C (120~940°F)
リップル温度	無負荷時 ± 5°C (± 9°F)
出力	AC 29V
外形寸法	145(W)×107(H)×211(D) mm
重量	3.9 kg

## ●ハッコーFX-8002

消費電力	260W (29V)
こて先アース間抵抗	< 2 Ω
漏れ電圧	< 2 mV
コード長さ	1.2 m
全長	228 mm (こて先 4BC 型を付けた場合)
重量	50 g (こて先 4BC 型を付けた場合)

※温度表示はハッコー FG-100で計測した温度です。

※この商品は静電気対策されています。

※仕様及び外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

### ⚠ 注意

#### ■ 静電気対策品への取り扱い注意

本製品は、プラスチックへの導電性付与、こて部・ステーション部の接地といった静電気対策が施されていますので、下記の注意を厳守してください。

1. グリップなどのプラスチックは、絶縁物ではなく導電性プラスチックです。修理時には十分注意を払い、活電部の露出・絶縁材の損傷がない様部品交換、修理を行なうこと。
2. 必ず接地して使用すること。

### 3. 安全及び取扱い上のご注意

この説明書では、注意事項を下記のように「警告」「注意」の2つに区分して表示しています。内容をよく理解されてから本文をお読みください。

 **警告**：誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意**：誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●安全のため以下の注意事項を必ず守ってください。

#### **警告**

電源を入れると、こて先温度は50～500℃の高温に達します。  
取扱いを誤ると、やけど・火災の恐れがありますので以下の注意事項を必ず守ってください。

- こて先周辺の金属部に触れないでください。
- 燃えやすいものの近くで使用しないでください。
- 周囲の人に「高温につき危険である」ことを知らせてください。
- 使用を中断・終了する時や、その場を離れる時は電源を切ってください。
- 部品交換時や収納時は必ず電源を切り、十分に冷えたことを確認してください。
- 管理責任者の許可なく、経験や知識のない者(子供を含む)が、この製品を使用しないように注意してください。
- 子供がこの製品で遊ばないように注意してください。

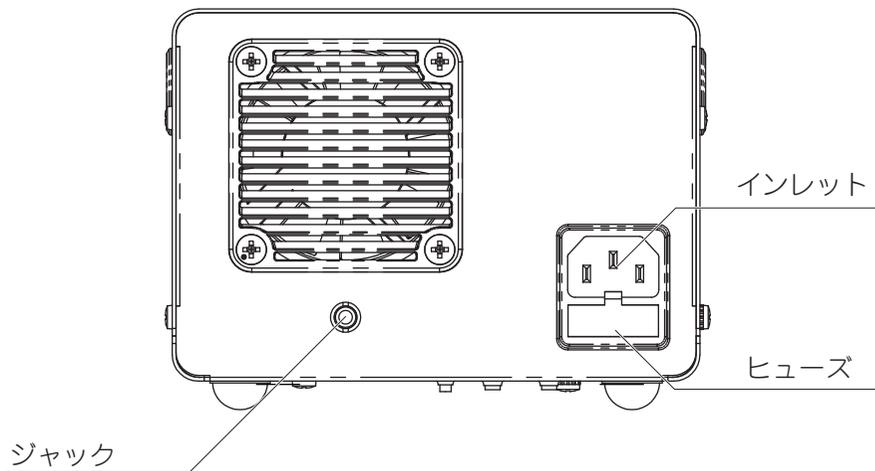
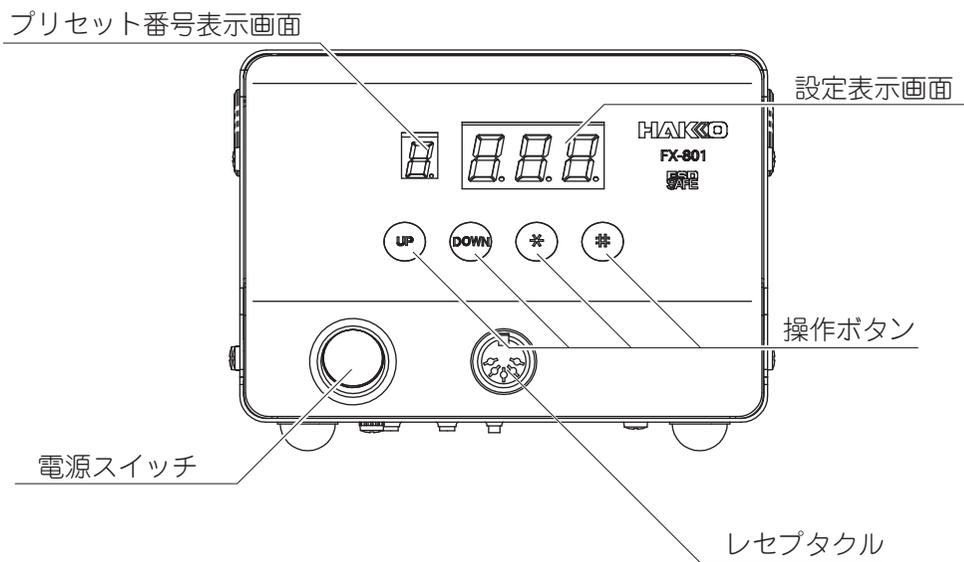
●事故や故障につながりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

#### **注意**

- 取扱説明書に書いてあること以外の用途で使用しないでください。
- はんだかすを取るために、こてを作業台に打ちつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- 本品を改造しないでください。
- 交換部品には、純正部品を使用してください。
- 製品を濡らさないでください。また、濡れた手で使用しないでください。
- コードの抜き差しはプラグを持って行ってください。
- はんだ付けする際、煙が発生するので、よく換気をしてください。
- ステーションの吸気口・排気口はふさがらないでください。
- その他危険と思われる行為は行わないでください。

## 4. 各部名称

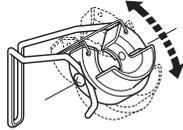
### ●ハッコーFX-801



# 5. 組み立て

## A. こて台

- 差し込み口（口金）を止めている2本のねじをゆるめてお好きな角度に固定してください。

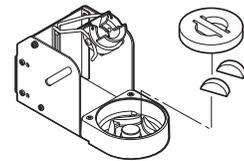
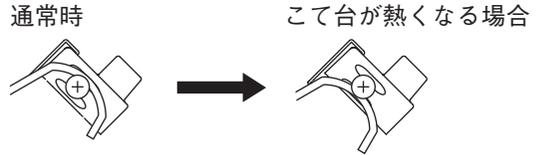


### ⚠ 注意

あまりたてた状態にするとグリッパが高温になります。あまりねかせると落下しやすくなります。ご注意ください。

- 本品は圧縮タイプのスポンジを使用しています。水に濡らすと膨張します。必ず水で濡らしてお使いください。
  1. スポンジ小をこて台ベースのいずれかの穴に入れます。
  2. こて台ベースに水を適量入れます。スポンジ小が水を吸い上げ、いつも湿った状態を保てます。
  3. スポンジ大を水に濡らし、こて台ベースに置きます。

口金には2ヶ所溝が付いています。こて先先端がこて台に接触しそうな場合や、こて台が熱くなる場合は手前の溝に取り付けてください。



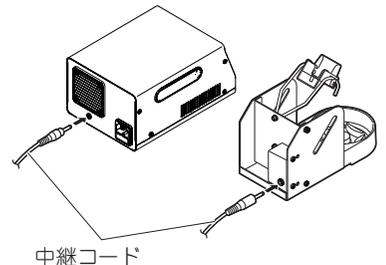
### ⚠ 注意

スポンジは水に濡らさずにそのまま使用するとこて先をだめにしてしまうことがあります。

- スリーブ機能を使用する場合  
スリーブ機能を使用する場合はこて台とはんだこてステーションの裏側のジャックに中継コードを接続してください。

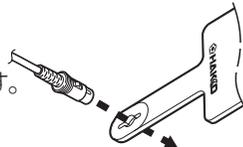
### ⚠ 注意

中継コードを抜き差しする時は必ず電源を落とした状態で行ってください。



## B. こて部

耐熱パッドを取付けます。こて先交換時に使用します。



## C. ステーション

### ⚠ 注意

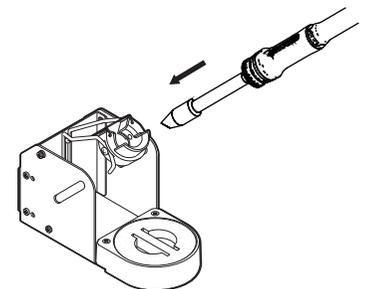
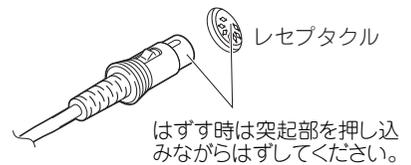
こて接続コードとレセプタクルの抜き差しは、電源スイッチを切ってから行ってください。電源スイッチが入ったままでは基板が壊れる可能性があります。

1. 電源コードをステーション背面のインレットに接続します。こて接続コードとレセプタクルを接続します。
2. こて部をこて台に置きます。
3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

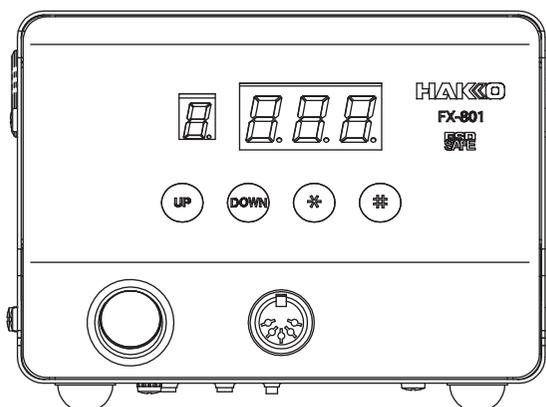
### ⚠ 注意

本機には静電気対策が施されていますので、必ず接地してご使用ください。

カチッと音がするまで差し込みます。



## 6. 使用方法



ハッコーFX-801のステーション部には4つの操作ボタンがあります。

- UP** — 1秒未満押しした時はプリセットNo.選択画面に移ります。  
長押しするとプリセット温度変更画面に移ります。  
各種設定変更時は表示されている値を上げます。
- DOWN** — 表示されている値を下げます。
- \*** — データ入力値を決定し、そのデータ入力モードを終了します。  
長押しすると温度設定モードに移ります。  
1秒未満押しした時は既に入力されている設定温度を表示します。
- #** — 長押しするとオフセットモードに移ります。  
1秒未満押しした時は既に入力されているオフセット値を表示します。

### 注意

使用者に下記のことをブザーでお知らせします。

- 設定温度に達した場合、ブザーが一回鳴ります。
- センサー温度が設定温度より下限設定分低くなった場合に、ブザーが鳴ります。  
センサー温度が下限設定範囲内に戻ればブザーは停止します。
- センサー/ヒーター切れの可能性がある場合、ブザーが連続して鳴ります。

### 操作方法

- 1.電源スイッチをONにします。
- 2.設定温度に達するとブザーが鳴り、使用可能であることをお知らせします。

工場出荷時には、350℃にセットしてあります。

設定温度を確認したい時は **\*** ボタンを押してください。2秒間設定温度が表示されます。

### 警告

使用しない時はこてをこて台に置いてください。

## 温度の設定/変更

### ⚠ 注意

温度設定範囲は50～500℃です。  
上記の数値を超える値を入力すると、再度3桁目の入力に戻ります。  
正しい数値を入れ直してください。

例：350℃から400℃に変更する場合

1. ✖ ボタンを長押しする。  
設定表示画面の3桁目が点滅します。

2. 3桁目から1桁目までの入力  
⬆ または ⬇ ボタンを用い、各桁の数値を決定します。

入力可能な数値は3桁目のみ0～5です。(°Fモード時は1～9)  
2桁目と1桁目は、0～9です。(°Fモード時も同様)

希望の数値が表示されたら ✖ ボタンを押します。  
点滅が次の桁へ移行します。1桁目の入力後、✖ ボタンを押すことで数値が内部メモリに記憶され、  
新しい設定温度を表示後にヒーター制御を始めます。



### ⚠ 注意

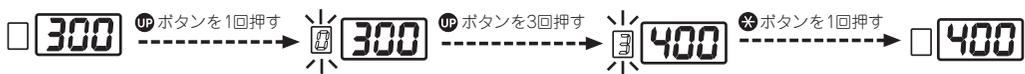
温度設定を最後までせずに電源を切ると、新しい設定温度は記憶されません。

## プリセットNo.の変更

あらかじめ登録されている温度を、ボタン操作により呼び出すことができます。  
初期の設定値は 0 : 300℃、1 : 350℃、2 : 375℃、3 : 400℃、4 : 450℃、5 : 500℃です。

例：プリセットNo.0 (300℃) からNo.3 (400℃) に変更

1. **UP** ボタンを1回押す。  
プリセット番号表示画面が点滅します。
2. **UP** ボタンを3回押し、**3**に変更します。
3. **\*** ボタンを押し、決定します。

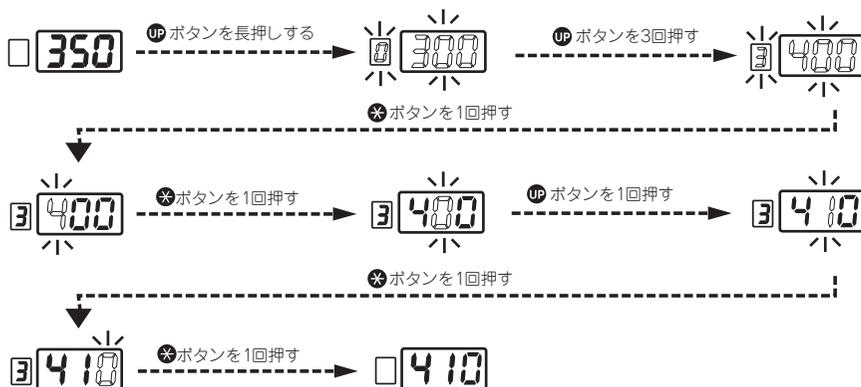


## プリセット温度の変更

0~5の計6つのプリセット設定温度を変更できます。

例：プリセットNo.3(400℃)を410℃に変更

1. **UP** ボタンを長押しする。  
プリセット番号表示画面と設定表示画面の両方が点滅します。
2. **UP** ボタンを3回押し、**3**に変更します。
3. **\*** ボタンを押し、変更するプリセット番号を決定します。
4. 以降、前ページの温度設定の要領で数値を入力、決定します。



## こて先温度のオフセット

例：設定温度が400℃で、実際のこて先温度が410℃の場合、設定温度との差が10℃あるためオフセット値として「-10」を入力します。

1. **#** ボタンを長押しする  
3桁目が点滅し、オフセットモードに入ります。

2. こて先温度を設定温度の差(-10)を入力する

入力可能な範囲は-50～+50℃(°Fモード時は-90～+90°F)です。  
上記の数値を超える値を入力すると、再度3桁目の入力に戻ります。  
正しい数値を入れ直してください。

3. 3桁目から1桁目までの入力

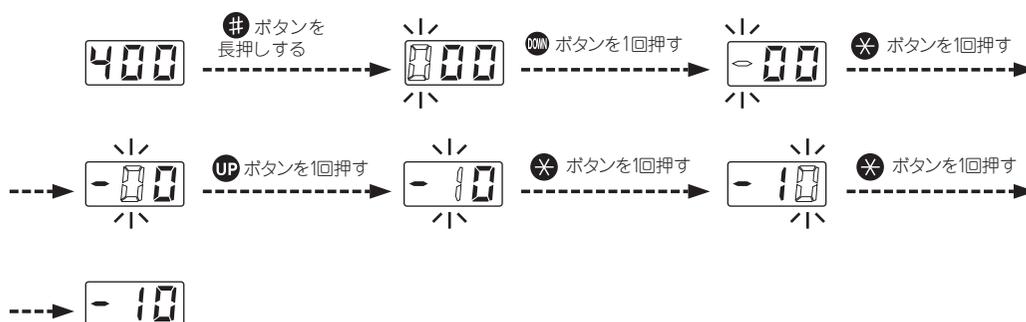
**UP**または**DOWN** ボタンを用い、各桁の数値を決定します。

3桁目の入力可能な数値は、0(プラスの場合)と-(マイナスの場合)です。(°Fモード時も同様)

2桁目の入力可能な数値は、0～5です。(°Fモード時は0～9)

1桁目の入力可能な数値は、0～9です。(°Fモード時も同様)

1桁目入力後、**\*** ボタンを押すことで数値が内部に記憶され、新しいオフセット値でヒーター制御を始めます。



## ⚠ 注意

故障の原因となるので、オフセット設定の際にこて先温度が500℃を超えないよう注意してください。

## 設定変更に制限をかける(パスワード機能)

ハッコ-FX-801は不用意に設定を変えられないように、各モードへの移行をパスワードで制限することが可能です。パスワード設定は以下の3種類の選択肢があります。(工場出荷時は“0：無効”に設定されています)

	0：無効	1：カスタム	2：有効
パラメータ設定モード移行	○	×	×
温度設定モード移行	○	△	×
プリセット選択モード移行	○	△	×
オフセットモード移行	○	△	×

○：各モードへパスワードを入力せずに移行できます。

△：パラメータ設定でパスワード機能の有無を選択できます。機能を有効にした場合、パスワードを入力しないと移行できません。

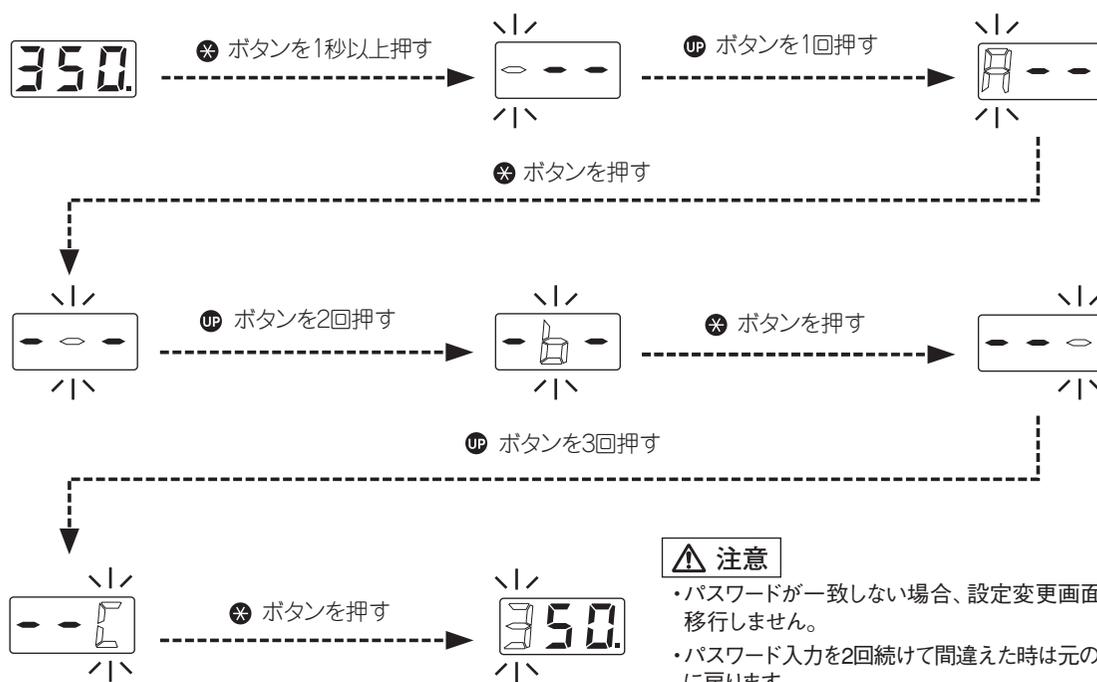
×：各モードへパスワードを入力しないと移行できません。

パスワードは3文字を入力する形式で、右の6文字から選択します。



パスワード選択  
可能文字

例：パスワードで制限されている時の温度設定モードへの移行手順（パスワード：AbCの場合）



パスワード入力後、各モードの設定変更画面へ移行します。以降は各モードの設定手順に従って変更を行なってください。

モードの変更はパラメータ設定画面で行います。（「7. パラメータ設定」を参照）

## 7. パラメータ設定

パラメータ名	パラメータNo.	設定内容	初期値
表示温度単位	01	°F表示( F )/°C表示( C )	°C
オートスリープ時間設定	02	0 ~ 29分	6分
下限エラー設定	03	30 ~ 300°C (54 ~ 540°F)	300°C
ブザー音設定 (S-E音, C-E音)	05	無効( 0 )/有効( 1 )	有効( 1 )
ブザー音設定 (設定温度到達音)	06	無効( 0 )/有効( 1 )	有効( 1 )
オートスリープ機能のON/OFF設定	07	OFF( 0 )/ON( 1 )	ON( 1 )
オートシャットオフ機能のON/OFF設定	08	OFF( 0 )/ON( 1 )	OFF( 0 )
出力設定	12	パワー( 0 )/ノーマル( 1 )	パワー( 0 )
オートスリープ温度設定	13	200 ~ 300°C (390 ~ 580°F)	200°C (400°F)
パスワードロック設定	14	無効( 0 )/カスタム( 1 )/有効( 2 )	無効( 0 )
温度設定モード		<input type="text" value="1 0"/> : ○* / <input type="text" value="1 1"/> : ×*	<input type="text" value="1 1"/>
プリセット選択モード		<input type="text" value="2 0"/> : ○* / <input type="text" value="2 1"/> : ×*	<input type="text" value="2 1"/>
オフセットモード		<input type="text" value="3 0"/> : ○* / <input type="text" value="3 1"/> : ×*	<input type="text" value="3 0"/>
パスワード		A b C d E F から 3文字選択	
オートシャットオフ時間設定	18	30 ~ 60分	30分

\* ○ : パスワード不要 × : パスワード必要

**UP** ボタンを押しながら電源スイッチを入れるとパラメータ設定に移ります。  
( 01 が点滅していれば設定画面に入っています。)

パラメータ番号を **UP** または **DOWN** ボタンで選択し、**OK** ボタンを押すと次のステップに移ります。  
各項目内でも同様に **UP** または **DOWN** ボタンで選択し、**OK** ボタンで決定します。  
全ての変更が完了したら、**OK** ボタンを長押しすると  (Yes) が表示されますので  
もう一度 **OK** ボタンを押して決定します。この時  (No) を選択すると元の画面に戻ります。

### **注意**

設定を最後までせずに電源を切ると、新しい設定は記憶されません。

## ● 01：温度表示℃/°Fの切り替え設定

1. 表示が **F**、**C** となっていれば、表示温度単位の切り替えモードになっています。
2. **UP** または **DOWN** のボタンを押すと、表示が **F** (華氏)、**C** (摂氏) と交互に切り替わります。
3. 選択後 **\*** ボタンを押すと画面は **01** に戻ります。

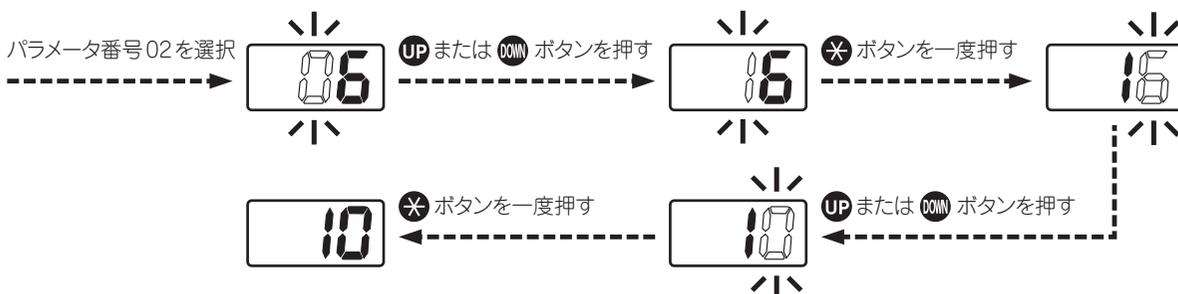
## ● 02：オートスリープ時間設定

はんだこてをこて台に置いてからオートスリープ機能が働くまでの時間を設定します。

オートスリープ例： **00** スリープ (こて台に置いた直後)  
**10** スリープ (こて台に置いた10分後)

注記：オートスリープ機能は1分単位で設定できます。(最長29分)

表示が **SLP** のときは、**UP**、**DOWN** のボタンを押すか、こて台からはんだこてを取り出すことで、ヒーターへの通電が再開されます。



選択後 **\*** ボタンを押すと画面は **02** に戻ります。

### ⚠ 注意

- 設定温度が300℃以下の場合、スリープ機能をONにしても、スリープになりません。
- スリープ時間を“0”に設定していても、電源投入時に一旦、設定温度までこて先温度が上昇しますが、故障ではありません。設定温度に到達後スリープ温度に制御されます。

## ● 03 : 下限エラー設定

下限エラーとは……センサー温度が設定温度より下限設定分、低くなった場合にエラー表示し、警報ブザーが鳴ります。センサー温度が設定範囲内に戻ればブザーは停止します。

下限温度設定範囲：摂氏 30 ~ 300℃  
華氏 54 ~ 540°F

例：設定温度が350℃で、下限エラー温度が100℃の場合、温度が250℃まで低くなったときに警報ブザーが鳴ります。

1. 下限設定温度の入力に入ると3桁目が点滅します。以降、温度設定の要領で数値を入力、決定します。
2. 下限設定温度範囲（上表参考）を超える数値を入力すると、再度3桁目の入力に戻りますので、正しい数値を入れ直してください。
3. 選択後 **✳** ボタンを押すと画面は **03** に戻ります。

## ● 05 : S-E, C-Eブザー音設定

1. センサーエラー、はんだこてエラー時のブザー音設定モードに移ると、**0** または **!** が表示されます。

**0** : エラー音が出力されません。

**!** : エラー音が出力されます。

2. **UP** または **DOWN** のボタンで選択します。選択後 **✳** ボタンを押すと画面は **05** に戻ります。

## ● 06 : 設定温度到達音設定

1. 設定温度到達時のブザー音設定モードに移ると、**0** または **!** が表示されます。

**0** : はんだこてが設定温度に到達してもブザーは鳴りません。

**!** : はんだこてが設定温度に到達するとブザーは鳴ります。

2. **UP** または **DOWN** のボタンで選択します。選択後 **✳** ボタンを押すと画面は **06** に戻ります。

## ● 07 : オートスリープ機能のON/OFF設定

**注記**：オートスリープ機能が働いている際は、こて台からこて部を取り上げるか、またはボタンを押すことで復帰します。

1. オートスリープ機能のON/OFF設定モードに移ると、**0** または **!** が表示されます。

**0** : オートスリープ機能の設定時間に関わらず、オートスリープ機能がOFFになります。

**!** : オートスリープ機能がONになり、オートスリープ時間が有効になります。

2. **UP** または **DOWN** のボタンで選択します。選択後 **✳** ボタンを押すと画面は **07** に戻ります。

## ● 08 : オートシャットオフ機能のON/OFF設定

はんだこてをこて台に置いて一定時間（初期は30分）経過すると、自動的にヒーターへの通電を停止し、オートシャットオフとなります。

オートシャットオフが働いている際は、こて台からこて部を取り上げるか、**UP** または **DOWN** のボタンを押すことで復帰します。

オートシャットオフになったときは、ブザーが鳴り、その後30分毎にブザーが鳴ります。

1. オートシャットオフ機能のON/OFF設定モードに移ると、 または  が表示されます。

: オートシャットオフ機能がOFFになります。

: オートシャットオフ機能がONになります。

2. **UP** または **DOWN** のボタンで選択します。選択後 **\*** ボタンを押すと画面は  に戻ります。

## ● 12 : 出力設定

**注記** : パワーモードは、主に大きな熱容量を必要とする、グラウンドパターンや金属成型品へのはんだ付けを短時間でこなうことを目的とする作業に適しています。

1. 出力設定モードに移ると、 または  が表示されます。

: パワーモードに設定されます。

: ノーマルモードに設定されます。

2. **UP** または **DOWN** のボタンで選択します。選択後 **\*** ボタンを押すと画面は  に戻ります。

### **注意**

こて先に負荷をかけすぎると、オーバーシュートする恐れがあります。

## ● 13 : オートスリープ温度設定

オートスリープ温度を設定します。

スリープ温度を高温にすることで、スリープ解除時の立ち上がりにかかる時間を短縮することができます。

### **注意**

スリープの温度をあまり高温にすると、こて先の劣化を早め、寿命を縮めることとなります。

**オートスリープ温度設定範囲** : 摂氏 200 ~ 300℃  
華氏 390 ~ 580°F

1. オートスリープ温度設定の入力に入ると百の位が点滅します。以後、温度設定の要領で数値を入力、決定します（一の位は入力できません）。
2. オートスリープ温度（上表参考）を超える数値を入力すると再度百の位の入力に戻りますので、正しい数値を入れ直してください。
3. 選択後 **\*** ボタンを押すと画面は  に戻ります。

## ● 14：パスワード設定

パスワード設定を無効、カスタム、有効の3種類から選択します。有効を選択した場合は、その後パスワードの設定を行ないます。カスタムを選択した場合は温度設定、プリセット、オフセットモードへの移行時のパスワード入力の有無と、パスワードの設定を行ないます。

1. **UP** または **DOWN** ボタンを押し、画面の表示を  と変えます。
2. **\*** ボタンを押しと設定モードの選択画面へ移行します。**UP** または **DOWN** ボタンを押しと  (無効)・ (カスタム)・ (有効) と順番に切り替わります。
3. 選択後 **\*** ボタンを押しと画面は  に戻ります。※1、2

※1  (カスタム) を選択した時は以下の選択画面へ移行します。

4. 3で **\*** ボタンを押しと**温度設定時にパスワードで制限するか**を選択する画面へ移行します。
5. **UP** または **DOWN** ボタンを押しと  (パスワードなし) と  (パスワードあり) のどちらかに表示が切り替わります。
6. 選択後 **\*** ボタンを押しと**プリセット選択モード時にパスワードで制限するか**を選択する画面へ移行します。
7. **UP** または **DOWN** ボタンを押しと  (パスワードなし) と  (パスワードあり) のどちらかに表示が切り替わります。
8. 選択後 **\*** ボタンを押しと**オフセットモード時にパスワードで制限するか**を選択する画面へ移行します。
9. **UP** または **DOWN** ボタンを押しと  (パスワードなし) と  (パスワードあり) のどちらかに表示が切り替わります。
10. 選択後 **\*** ボタンを押しとパスワード設定画面へ移行します。

※2  (有効) を選択した時は以下のパスワード設定画面へ移行します。

(カスタム) を選択した場合、※1の選択終了後に以下のパスワード設定画面へ移行します。

11. 3桁目が点滅し文字入力を受け付けている状態です。  
**UP** または **DOWN** ボタンを押し、表示を切り替えます。
12. 希望の文字を決定後、**\*** ボタンを押しと点滅が2桁目へ移ります。  
同じ手順で2桁目、1桁目と文字を入力します。
13. 1桁目まで入力完了後 **\*** ボタンを押しと画面は  に戻ります。

---

## ● 18 : オートシャットオフ時間設定

オートシャットオフ時間設定の設定を行ないます。設定は30分から60分まで1分刻みで設定することが可能です。

1.  表示時に **✳** ボタンを押すとオートシャットオフ時間（初期は30分）が表示されます。
2. **UP** または **DOWN** ボタンを押し、希望の数値へ変更します。**入力可能な値は30～60（分）です。**
3. 選択後 **✳** ボタンを押すと画面は  に戻ります。

## 8. メンテナンス

製品を長く、よりよくお使いいただくため、定期的にメンテナンスを実施してください。使用する温度や、はんだ・フラックスの質・量によって製品の消耗の度合いが異なりますので使用状況に応じてメンテナンスを行ってください。

### 警告

本機は高温となりますので、作業には十分ご注意ください。また、特に指示のある所以外では、必ず電源を切り、電源コードを抜いてください。

#### ● こて先について

##### 1. こて先温度

必要以上に高い温度でのご使用は、こて先の劣化を早め、熱に弱い部品にダメージを与えることがあります。はんだ付けの場合は常に、できるだけ低い温度で使用してください。ハッコーFX-801はこて先の温度回復力が優れているため、低めの設定温度で十分に作業が可能です。

##### 2. クリーニング

はんだ付けの前にこて先クリーナーを使って、こて先に付着した古いはんだやフラックスを取り除き、新しいはんだを送ってください。こて先に付着した不純物は、はんだ付け不良の原因となり、またこて先の熱伝導が悪くなるためこて先温度を上げねばならず、こて先と基板を傷めることとなります。

##### 3. 終了後

使用後、こて先をきれいにし、こて先の酸化を防ぐため新しいはんだで先端を覆ってください。

##### 4. 中断

高い温度のままこてを放置しないでください。こて先のはんだメッキが酸化してしまいます。長時間使用しない時は電源スイッチを切ってください。

##### 5. メンテナンス

- a. 温度を250℃に設定します。
- b. 温度が安定したらクリーニングスポンジ、またはクリーニングワイヤーでこて先をぬぐい、こて先を点検します。ひどい摩耗や変形がある場合には交換してください。
- c. こて先のはんだメッキ部分が黒い酸化物で覆われている場合には、フラックスを含んだ新しいはんだを送ってもう一度こて先をクリーニングしてください。酸化物が取れるまでこの作業を繰り返し、その後こて先を新しいはんだで覆ってください。
- d. 電源を切り、冷却してからこて先を外します。他に酸化物などが付着している場合もアルコールなどで拭き取ってください。

### 注意

酸化物を除去するために、決してやすりでこて先を削らないでください。

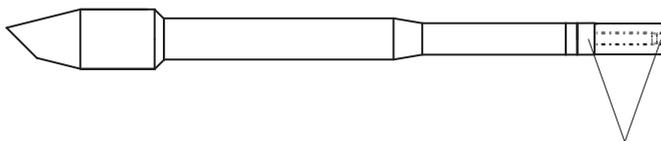
## 9. 点検

### ⚠ 警告

特に指示がない限り、下記の手順は電源スイッチを切り電源コードを抜いて行ってください。

#### ■ヒーター／センサー切れ

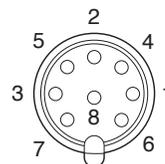
ヒーターとセンサーに電氣的異常がないことを確認してください。  
ヒーターとセンサーの抵抗は、常温(15~25℃)で測定してください。  
正常値は $3.4\Omega \pm 10\%$ です。抵抗値が異常な場合には、こて先を交換してください。



この間のヒーター／センサーの抵抗値を測定します。

#### ■アースラインの点検

1. こてケーブルのプラグをステーションから外します。
2. ピン2とこて先間の抵抗値を測定します。
3. 抵抗値が $2\Omega$ (常温時)を超える場合、こて先のメンテナンスを行ってください。  
それでも下がらない時はこてケーブルの断線を調べてください。

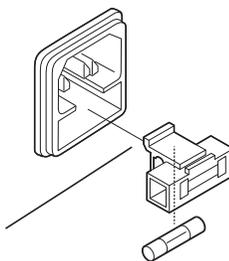


#### ■こてケーブルの断線

コネクタのピンの抵抗値を測定します。  
ピン1~ピン3間 -  $3.0 \sim 3.8\Omega$   
抵抗値が上記の値と異なる場合はこてケーブルの交換が必要です。  
購入された販売店へご連絡ください。

#### ■ヒューズ交換方法

1. 電源コードをインレットより引き抜きます。
2. ヒューズホルダーを引き抜きます。
3. 新しいヒューズと交換します。
4. 元通り組み立てます。



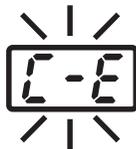
# 10. エラー表示

## ● センサーエラー



センサー／ヒーター切れ(センサー回路を含む)の可能性がある場合、**S-E**が表示されブザーが鳴ります。

## ● はんだこてエラー



こてケーブルがステーションに接続されていないか、間違ったはんだこてが接続されると**L-E**が表示されブザーが鳴ります。

## ● 下限設定温度エラー



センサー検出温度が設定温度と下限設定温度との差以上に大きくなった場合、**H-E**が表示されブザーが鳴ります。こて先温度が設定温度範囲内に上昇すれば、ブザーは鳴り止みます。

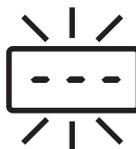
例： 350°C (400°C - 50°C)  
          ↓                  ↓  
      設定温度          下限設定温度

## ● ヒーター端子短絡エラー



こて先が間違った方向に挿入されたり、使えないこて先が挿入されたり、コネクタとの接続部に異物が混入したりしていると**HSE**が表示されブザーが鳴ります。

## ● システムエラー



データフラッシュ等のハードウェアの異常が発生した場合、こてへの通電を即座に停止し**---**を表示します。

# 11. トラブルシューティング

---

## ●電源スイッチを入れても動作しない。

**点検**：電源コードまたは接続プラグが外れていませんか。

対処：正しく接続してください。

**点検**：ヒューズが切れていませんか。

対処：ヒューズが切れた原因を確認した後、ヒューズを交換してください。  
再びヒューズが切れる場合には、修理のため本体ごと送り返してください。

## ●こて先が熱くならない。

・センサーエラー **[5-E]** が表示される。

**点検**：こて先はしっかり差し込まれていますか。

対処：こて先を最後まで差し込んでください。

**点検**：こてケーブルが断線していませんか。ヒーター / センサーは切れていませんか。

対処：17ページ「**■こてケーブルの断線**」および「**■ヒーター/センサー切れ**」の項をご参照ください。異常がある場合には交換してください。

## ●こて先にはんだが乗らない。

**点検**：こて先の設定温度が高すぎませんか。

対処：適正温度に設定してください。

**点検**：こて先に酸化物が付着していませんか。

対処：酸化物を取り除いてください。  
(16ページ「**●こて先について**」の 6. メンテナンスの項をご参照ください。)

## ●こて先温度が高すぎる。

**点検**：こてケーブルが断線していませんか。

対処：17ページ「**■こてケーブルの断線**」の項をご参照ください。

**点検**：オフセット値入力正しいですか。

対処：正しく入力してください。

## ●こて先温度が低すぎる。

**点検**：こて先に酸化物が付着していませんか。

対処：酸化物を取り除いてください。  
(16ページ「**●こて先について**」の 6. メンテナンスの項をご参照ください。)

**点検**：オフセット値入力正しいですか。

対処：正しく入力してください。

## ●はんだこてエラー **[E-E]** が表示される。

**点検**：他のはんだこてを接続していませんか。

またはハッコーFX-8002のプラグが外れていませんか。

対処：電源スイッチを切り、ハッコーFX-8002を接続し直し、電源スイッチを入れます。

●下限設定温度エラー **[H-E]** が頻発する。

**点検**：ワークに対してこて先が小さすぎませんか。

対処：もっと熱容量の大きいこて先を使用してください。

**点検**：下限設定温度エラーの設定が低すぎませんか。

対処：設定値を大きくしてください。

●ヒーター端子短絡エラー **[HSE]** が表示される。

**点検**：こて先はハッコーFX-8002用ですか。

対処：電源スイッチを切り、純正のハッコーFX-8002用こて先を挿入し、電源スイッチを入れ直してください。

●システムエラー **[---** が表示される。

対処：購入された販売店へご連絡ください。

※ 各言語（日本語、英語、中国語、フランス語、ドイツ語、韓国語）の取扱説明書は以下のURL、HAKKO Document Portalからダウンロードしてご覧いただけます。

（商品によっては設定の無い言語がありますが、ご了承ください）

\* 各國語言(日語,英語,中文,法語,德語,韓語)的使用說明書可以通過以下網站的HAKKO Document Portal 下載參閱。  
（有一部分的產品沒有設定外語對應,請見諒）

\* Instruction manual for the language, Japanese, English, Chinese, French, German and Korean can be downloaded from the following URL, HAKKO Document Portal.

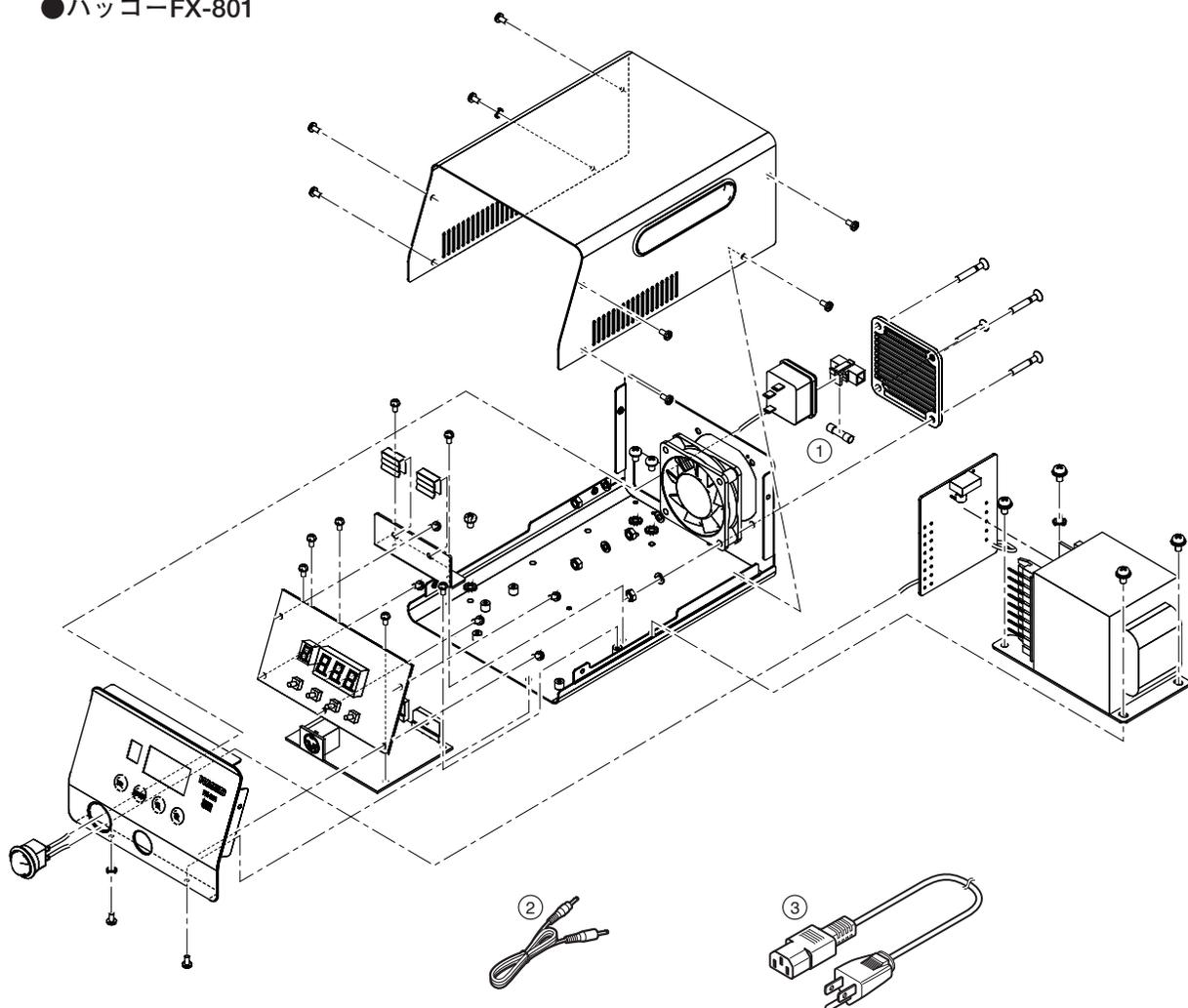
(Please note that some language may not be available depending on the product.)



<https://doc.hakko.com>

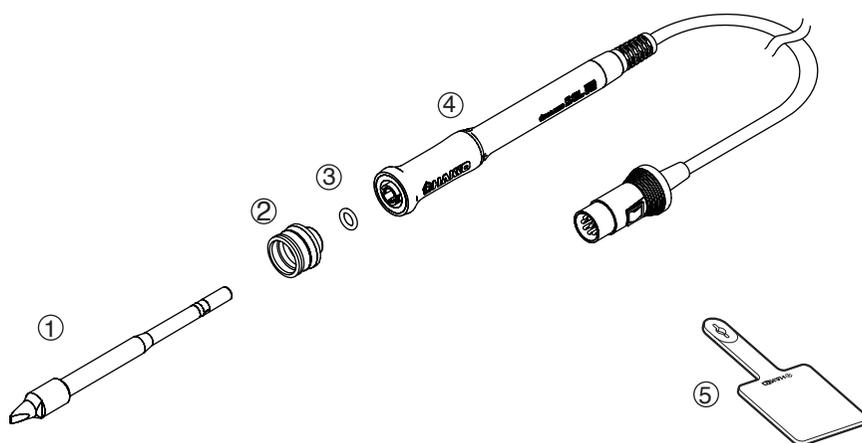
# 12. 部品リスト

## ●ハッコーFX-801



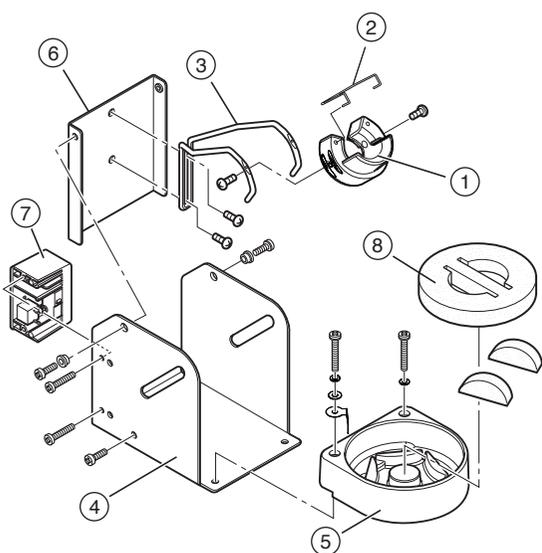
## ●ハッコーFX-801

図番	品番	部品名	仕様
①	B3674	ヒューズ/250V-7A	100-120V
②	B3253	中継コード	
③	B2387	電源コード	ゴム2極接地型



●HAKKO FX-8002

図番	品番	部品名	仕様
①		こて先	「こて先の種類」参照
②～④	FX8002-81	ハッコ-FX-8002	29V-260W
② ③	B5071	ニップル	Oリング付
③	B2578	Oリング	
⑤	B2300	耐熱パッド	



●こて台

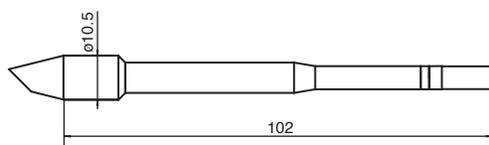
図番	品番	部品名	仕様
①～⑧	FH200-82	ハッコ-FH-200	スポンジ付

●こて台用パーツ

図番	品番	部品名	仕様
①	B5083	口金/イエロー	ねじ付
②	B2791	こて先固定スプリング	
③	B5084	口金ホルダー	ねじ付
④	B3251	こて台ベース	ゴム足付
⑤	B3249	クリーナーベース	ゴム足付
⑥	B3250	ステー	
⑦	B3252	スイッチケース組品	
⑧	A1519	クリーニングスポンジ	

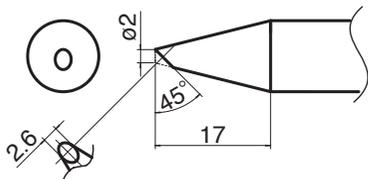


# こて先の種類

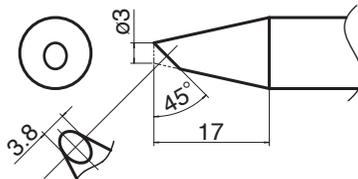


単位：mm

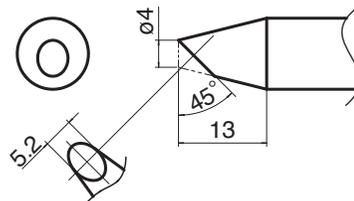
T33-BC2 2BC型



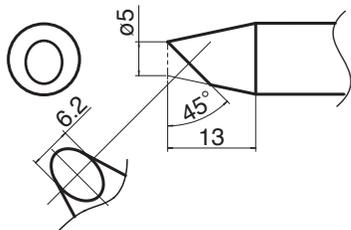
T33-BC3 3BC型



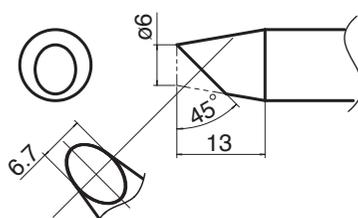
T33-BC4 4BC型



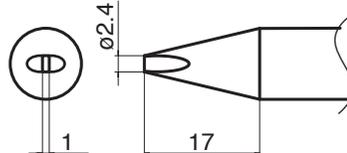
T33-BC5 5BC型



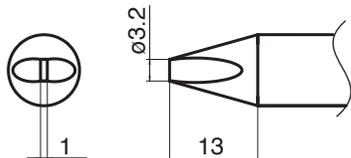
T33-BC6 6BC型



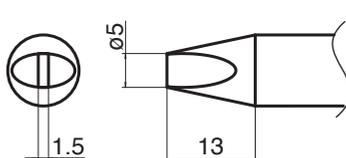
T33-D24 2.4D型



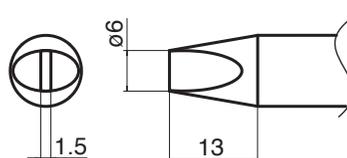
T33-D32 3.2D型



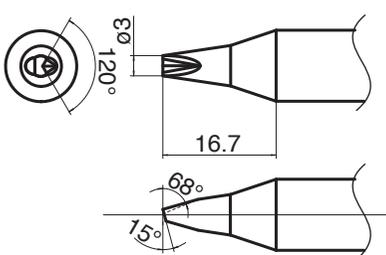
T33-D5 5D型



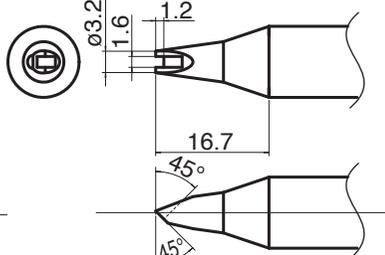
T33-D6 6D型



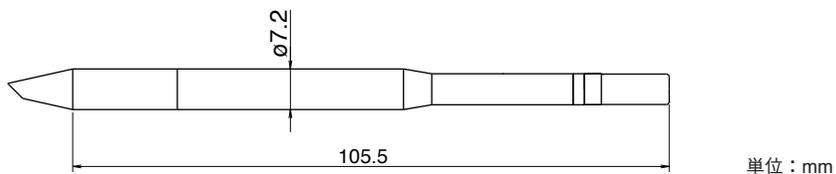
T33-1610



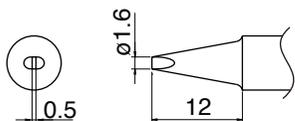
T33-1611



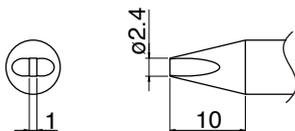
# こて先の種類



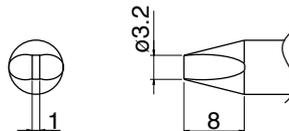
T33-SSD16 1.6D型



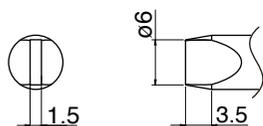
T33-SSD24 2.4D型



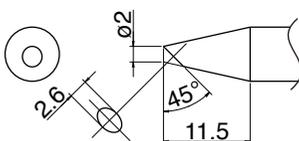
T33-SSD32 3.2D型



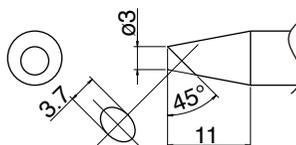
T33-SSD6 6D型



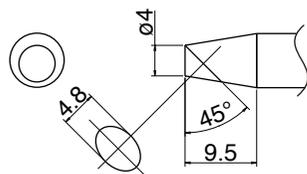
T33-SSBC2 2BC型



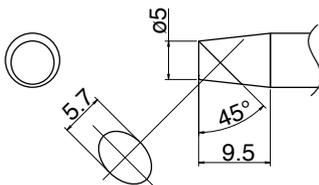
T33-SSBC3 3BC型



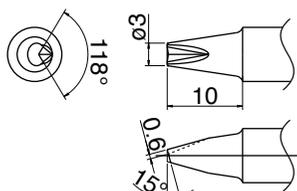
T33-SSBC4 4BC型



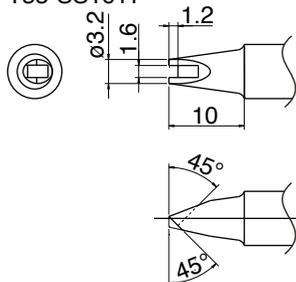
T33-SSBC5 5BC型



T33-SS1610



T33-SS1611



白光株式会社

<http://www.hakko.com>

〒556-0024 大阪市浪速区塩草2丁目4番5号

TEL: (06) 6561-1574 (代) FAX: (06) 6568-0821